

点検で働き方見直し 「キャリアドック制」導入



面談を受けるホンダカーズ大分中央の社員（左）＝大分市

ホンダカーズ大分中央

自動車販売のホンダカーズ大分中央(大分市)は、社員に対して自身のキャリアを定期的に見直す機会を提供する「セルフ・キャリアアド

ィック」制度を今年から導入した。専門家によるカウンセリングを実施して、目標とする働き方を考えてもらい、モチベーションの向上

ユース「サンシャインエンジニアド」(400名以上、1仕事で疲れた体のリカバ1800円)などを2月末ごろまで都内4店舗で扱務所おんせん県おいたっている。

課は「料理に搾るだけ

や離職の抑制につなげる。セルフ・キャリアドックは人間ドックのように自分のキャリアを節目ごとに点検する手法。厚生労働省が働き方改革の一環として企業への導入を支援している。

キャリアアカウンセラーが同社の花園店を訪れ、社員4人に1人1時間ずつ面談。日頃の悩みや将来の目標を聞き取り、働き方について助言した。

面談を終えた入社2年目の工藤菜さん(23)は「こうなりたいという姿が決まっていはいないが、客観的なアドバイスをもらえて参考になった」と感想を話していた。

同社は今年中に全社員(70人)への面談を実施する予定。これまで結婚を機に退社してしまうことが多かった女性社員に対しては、結婚後も働きやすい職場づくりについての意見も聞き参考にするという。